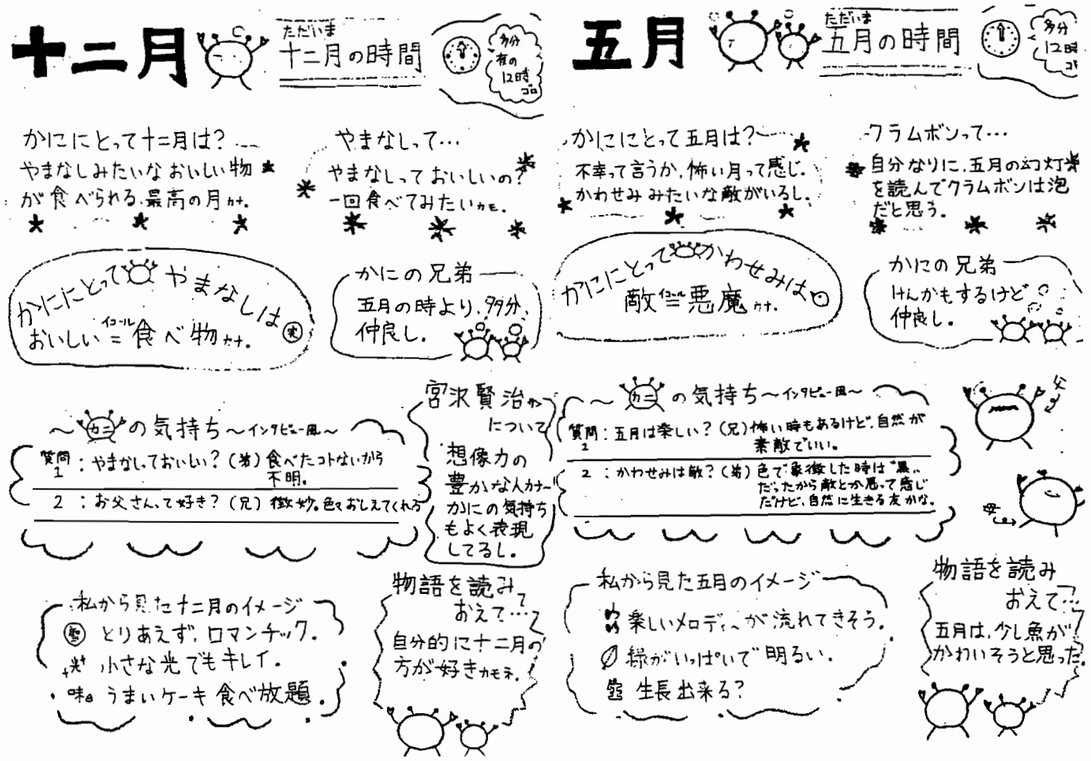
〈8時目〉
伝記と物語を比べ読みし、伝記から読み取った賢治の行き方や考え方が、「やまなし」にどのように表現されているか考える。以下の児童の言葉は、A児のグループでの話合いの内容である。

テーマ：宮沢賢治とは？
- 自分の夢をあきらめず追いかけた人。
- 自分の夢を成し遂げようとして、他の人にもその夢を伝えようとした。
- 宮沢賢治は自分のことだけではなく、他人の事を一番に考える尊敬できる人。賢治は若くしてなくなったけど、残った物語が賢治の思いや理想を伝えていると思う。

テーマ：やまなしで賢治が伝えたかったことは？
- 小さな命の大切さ。
- 賢治は自然が好きだから、自然の事を知って欲しくて書いた。
- 陸のことだけではなく、川のすばらしさも伝えたかったから書いた。食べる食べられるということにも気付いて欲しかったから書いた。
- 賢治が見ることができている動物の目線をみんなに伝えたかった。
- 友だちのいる喜び、幸せをもっとうれしく思って欲しかったら。
- かにには恐ろしいこともあれば、楽しいこともある。やまなしはかにに安心感を与えてくれる。人間もこんなふうに生きているということを書いた。

場面ごとの様子、色彩、比喩などについて自分なりにまとめた

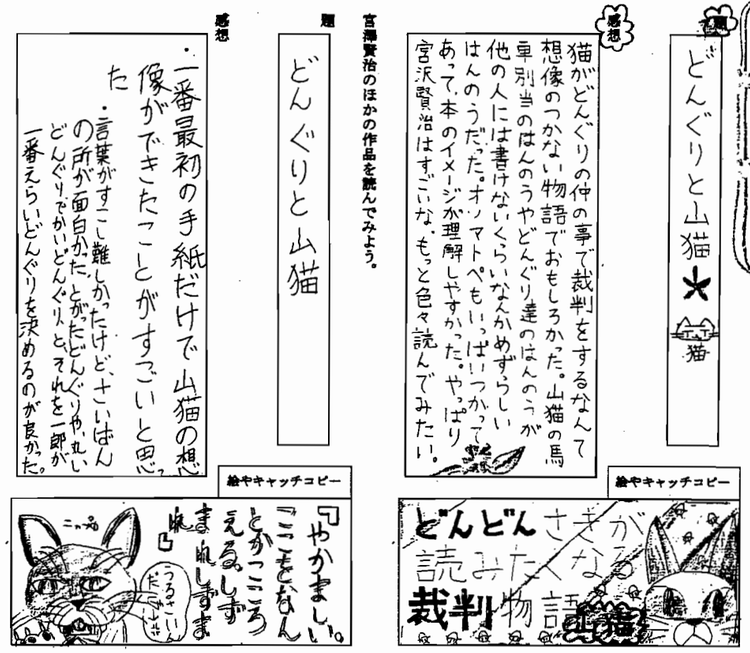


A児の単元終了後の感想

- 知っているつもりでも、違う本で調べてみると、意外なことがわかってしっかり読めたと思う。宮沢賢治って、色で表現したり音で表現したりするのがすごくうまいと思った。

他の賢治作品へ読み広げる

- 地域の図書館との連携
- 感想カードでの交流



学習をふり返って

- ○ 今まで物語は面白くないと思っていたけれど、賢治の作品はなぞときみたいでおもしろかった。
- ○ 物語ってよく考えて書かれているんだと思いました。様子を表す言葉に今度から気をつけて読もう。
- ○ 賢治は動物が出てくる作品を多く残しているので、みんな読んでみたい。
- ○ 賢治の本は現実にありそうもない話しだけれど、そこがおもしろいと思った。
- ○ 知っているつもりでも違う本で調べてみると、意外なことがわかってしっかりと読めたと思う。

子ども達が読み広げた賢治の作品と児童のつけたおすすめ度（それぞれが複数冊読んでいる）

「どんぐりとやまねこ」	２２人	★★★★☆
「よだかの星」	１６人	★★★★☆
「セロ弾きのゴーシュ」	１５人	★★★☆☆
「オツベルと象」	１４人	★★★★☆
「猫の事務所」	１１人	★★★★★
「なめとこ山の熊」	１１人	★★★☆☆
「北守将軍と三人兄弟の医者」	１０人	★★★★☆
「シグナルとスグナレス」	９人	★★☆☆☆
「狼森と笊森、盗森」	６人	★★☆☆☆
「グスコーブドリの伝記」	５人	★★★☆☆
「銀河鉄道の夜」	５人	★★★★☆
「風の又三郎」	５人	★★☆☆☆
「かしわばやしの森」	４人	★★★☆☆
「土神と狐」	４人	★★☆☆☆
「月夜のでんしんばしら」	４人	★☆☆☆☆
「雪わたり」	２人	★★★☆☆